



やえい
神奈川県立 弥栄高等学校



<学校案内図>

利用交通機関

- JR横浜線淵野辺駅南口より
 - ・徒歩25分
 - ・バス「青葉循環～淵野辺駅南口」行き「弥栄小学校前」下車徒歩3分
 - ・バス「水郷田名／上溝／半原」行き「栄公園前」下車徒歩5分
- 小田急線相模大野駅北口より
 - ・バス「大野台経由JR相模原駅」行き「青葉児童館前」下車徒歩3分

所在地：相模原市中央区弥栄三丁目1番8号 〒252-0229

電話：042(758)-4695

FAX：042(751)-6137

URL：<http://www.yaei-h.pen-kanagawa.ed.jp/>

創立：平成19(2007)年11月(平成20(2008)年4月開校)

課程：単位制による全日制

設置学科・生徒数・学級数

	1年	2年	計		3年
普通科	158	161	319	国際科	75
音楽科	39	39	78	芸術科	80
美術科	39	39	78	スポーツ科学科	78
スポーツ科学科	79	79	158	理数科	80
学級数	8	8	16	学級数	8

(生徒、学級数については平成30(2018)年5月1日現在)

本校付近略地図



(1) 学校の特徴

【概要】

平成28(2016)年度までの4つの専門学科(国際科、芸術科、スポーツ科学科、理数科)を、平成29(2017)年度から学科改編し、普通科と専門学科(音楽科・美術科・スポーツ科学科)を併置した単位制の個性教育を推進する高校となりました。普通科では、これまでの国際科と理数科レベルの教育を引き継ぎ、様々な学校行事とおして人間の成長を図りながら、国公立大学・難関私立大学への進学をめざした教育を行っていきます。

平成3(1991)年度から海外帰国生徒特別募集を始めました。現在15名が国際科及び普通科に在学中ですが、日本での学校生活にも慣れ、クラスの中にとけこみ、勉強にも部活動にも積極的に取り組み、有意義な高校生活を送っています。

主な学校行事(体育祭・文化祭など)は、生徒が中心となり企画段階から取り組み、大いに盛り上がります。また、約80%の生徒が部活動に加入し、熱心に活動しています。

弥栄高校は部活動が大変盛んで、平成29(2017)年度には男子バレーボール部、吹奏楽部、美術部、サイエンス部、書道部が全国大会に、陸上競技部、男子剣道部、ワンダーフォーゲル部が関東大会に出場しました。



マスコットキャラクター
弥栄子ちゃん

【教育目標】 生徒の個性を啓発し、心豊かで世界に開かれた視野を持つ若人の育成

TOP教育の推進 教を「生きた学び」に

- T Thinking・・・考えをめぐらせ
- O Organization・・・知識を組み立て
- P Presentation・・・それをきちんと伝えられる能力の育成

School Image (校風)

生徒が誇りを持てる学校
同じ志を持つ仲間を得て、
楽しみながら切磋琢磨できる学校

Scholar Image (学風)

学びを通して、自分の可能性を試し、
自分の中に本来持っている力を発揮



Study Image (教風)

入学時から徹底した学習力の育成、
個に応じた学習指導、
専門的で幅広い教育活動



【施設】

体育館（2）、野球・サッカー・陸上競技が同時に活動できる広いグラウンドがあります。この他にテニスコート（全天候型7面・壁打ち1面）、展示ホール、芸術表現実習室兼視聴覚室、個人レッスン室（26）、CALL教室（2）、大トレーニングルーム、図書室、情報学習室（3）、CG教室など充実した設備があり、十分な学習効果を上げています。

弥栄高校の周辺には、小・中学校、短期大学、国民生活センター、宇宙科学研究所、国立近代美術館フィルムセンター、相模原球場、市立博物館、アイススケート場、プールなどの施設があり、緑豊かな恵まれた学習環境となっています。

(2) 教育課程

普通科と専門学科を併置した単位制の高等学校です。週当たりの授業時数は最大31時間（単位）になり、3年間で86単位以上の授業を履修および修得します。

普通科では、共通教科・科目を広く履修するとともに、生徒の学習や進路ニーズに対応した外国語や理数の教育を重視した科目を多く取り入れています。

選択科目には、「フランス語」、「ドイツ語」、「スペイン語」、「中国語」、「イタリア語」、「ハンガル」といった第二外国語や、「現代文研究」、「数学研究A,B」、「英語作文研究」といった学校設定科目も設置されています。

(3) 海外帰国生徒の学習

海外帰国生徒特別募集は、普通科において実施しています。生徒が日本の高等学校教育に早くなじめるように、他の生徒と一緒に授業を受けます。学習が遅れていると考えられる教科・科目については、必要に応じて「個別対応授業」を行います。「個別対応授業」は日本語の習得と各教科の基礎学力の充実を目標とし、できるだけ他の生徒と同じ授業にスムーズに入っていけるようにすることを目標としています。

(4) 海外帰国生徒の卒業後の進路

4年制大学への進学を希望する生徒が多く、それぞれの目標に向かって頑張っています。

得意な語学や海外での経験を活かした入試を利用する生徒が多くみられます。

最近の卒業生の主な進路先としては、慶應義塾大学、上智大学、法政大学、東洋大学、國學院大学、拓殖大学、東海大学、神奈川大学、武蔵野大学などがあげられます。